

公立大学法人福知山公立大学業務実績評価書
【記入要領】

評価順序について

《順序1》小項目別評価

- 年度計画の記載項目(小項目)ごとに、下記指標により5段階評価
<評価指標>
 - 5: 年度計画を大幅に上回って実施している
 - 4: 年度計画を上回って実施している
 - 3: 年度計画を概ね実施している
 - 2: 年度計画を十分に実施できていない
 - 1: 年度計画を大幅に下回っている
- 法人の自己評価と評価委員の判断が異なる場合は、その理由を記入してください。
- 判断が同じ場合は、原則記述不要。ただし、特筆すべき点等があれば、評価のポイント等を記入してください。
- 法人の自己点検欄の記述だけでは評価することが難しい場合は空白でも可。ただし、評価に要する質問事項を別紙「質問票」により提出してください。
- 中期計画の記載項目(小項目)ごとに、下記指標により5段階評価
<評価指標>
 - 5: 中期計画を大幅に上回って実施している
 - 4: 中期計画を上回って実施している
 - 3: 中期計画を概ね実施している
 - 2: 中期計画を十分に実施できていない
 - 1: 中期計画を大幅に下回っている

《順序2》大項目別評価

- 小項目別評価の「評価委員会による評価結果(年度計画)」欄の中で、評価できる項目(特筆する項目)を箇条書きで記入してください。
 - 小項目別評価の「評価委員会による評価結果(年度計画)」欄の中で、課題となる項目を箇条書きで記入してください。
 - 小項目別評価の「評価委員会による評価結果(中期計画)」欄の中で、評価できる項目(特筆する項目)を箇条書きで記入してください。
 - 小項目別評価の「評価委員会による評価結果(中期計画)」欄の中で、課題となる項目を箇条書きで記入してください。
- ※ 「評価」、「評価基準」、「評定平均」、「評価理由」は、評価委員会審議結果を踏まえ、事務局で記入します。

《順序3》全体評価

評価委員会審議結果を踏まえ、事務局で記入します。

【大項目別評価結果】

大項目	評定	S	A	B	C	D
		特筆すべき進捗状況である	順調に進捗している	概ね順調に進捗している	進捗が遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置				○		
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置				○		
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ③地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置			○			
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置				○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置				○		
自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置				○		
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置				○		
福知山市の規則で定める業務運営に関する事項				○		

該当箇所に「○」を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

【大項目別評価結果】

大項目	評定	S	A	B	C	D
		特筆すべき進捗状況である	順調に進捗している	概ね順調に進捗している	進捗が遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置				○		
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置				○		
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ③地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置			○			
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置				○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置				○		
自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置				○		
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置				○		
福知山市の規則で定める業務運営に関する事項				○		

該当箇所に「○」を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

2 大項目別評価

《順序2》大項目別評価

第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

■6つの大項目(8分野)

- (1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
 - ① 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置
 - ② 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
 - ③ 地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- (4) 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置
- (5) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

2019年度評価

評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.1

S~Dの評価結果を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

評定平均値を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

(1) 評価理由

.....

.....

.....

.....

.....

小項目別評価結果(年度計画)を踏まえた評価理由
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	36					
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)

小項目別評価結果(年度計画)の内訳を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

(2) 概況

(評価できる点等)

○

○

○

小項目別評価の「評価委員会による評価結果(年度計画)」欄の中で、評価できる項目(特筆する項目)を箇条書きで記入。
【評価委員が記入】

(課題となる点等)

○

○

○

小項目別評価の「評価委員会による評価結果(年度計画)」欄の中で、課題となる項目を箇条書きで記入。【評価委員が記入】

中期目標評価

評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している

S～Dの評価結果を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

評定平均
3.1

評定平均値を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

(1) 評価理由

.....

.....

.....

.....

.....

小項目別評価結果を踏まえた評価理由
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	36					
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)

小項目別評価結果(中期計画)の内訳を記入
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

(2) 概況

(評価できる点等)

○

○

○

小項目別評価の「評価委員会による評価結果(中期計画)」欄の中で、評価できる項目(特筆する項目)を箇条書きで記入。
【評価委員が記入】

(課題となる点等)

○

○

○

小項目別評価の「評価委員会による評価結果(中期計画)」欄の中で、課題となる項目を箇条書きで記入。【評価委員が記入】

項目別の状況

小項目数 (中期計画)	小項目数 (年度計画)

第4 教育研究等の質の向上に関する目標

- 1 教育の質の向上に関する目標
(1) 教育の成果に関する目標

中期目標	<p>教育研究において、地域、自国、そして世界に対する理想を持ち、教養・専門の知識を生涯にわたって学修し、それを実践する力を涵養する。特に、地域協働型教育研究を通して、創造的思考力、課題解決力、協働・協調力、コミュニケーション力など、社会人に必要となる基礎能力を涵養する。地域社会そのものを教育の場としたフィールドワークやインターンシップに主体的に取り組み、地域の人や資源を教材とした教育研究を実践する中で、地域社会が抱える様々な課題解決に向け、関係者や関係機関等との協議調整、企画立案や提案を行うことができる人材を育て、地域社会に還元する。</p>
------	---

中期計画 番号	中期計画	業務の実績 (中期計画)	自己評価	評価委員会による評価結果 (中期計画)		年度計画 番号	年度計画	業務の実績 (年度計画)	自己評価	評価委員会による評価結果 (年度計画)	
				評価のポイント・委員会確認事項	評価区分					評価のポイント・委員会確認事項	評価区分

1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関する目標を達成するための取組				《順序1》小項目別評価(中期計画)				《順序1》小項目別評価(年度計画)			
1	<p>①自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドの涵養</p> <p>大学の理念の実現と発展に必要な長期的な戦略を計画し、地域に根ざし、世界に通用する高い専門能力と多角的な視点を持ち、さらに、地域社会の様々な分野におけるニーズに対応した指導的役割を果たせる人材を育成するための自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドを涵養する。</p>	【平成28年度～令和元年度の総括】	3	<p>●法人の自己評価と評価委員の判断が異なる場合は、その理由を記述。</p> <p>●判断が同じ場合は、原則記述不要。ただし、特筆すべき点等があれば、評価のポイント等を記述。</p> <p>●法人の自己点検欄の記述だけでは評価することが難しい場合は空白でも可。ただし、評価に要する質問事項</p>	1	2	3	<p>●法人の自己評価と評価委員の判断が異なる場合は、その理由を記述。</p> <p>●判断が同じ場合は、原則記述不要。ただし、特筆すべき点等があれば、評価のポイント等を記述。</p> <p>●法人の自己点検欄の記述だけでは評価することが難しい場合は空白でも可。ただし、評価に要する質問事項</p>			
									<p>引き続き、現在進行している新カリキュラムについて、それぞれの科目の配当年次の妥当性や、科目に位置づけについて検証を行い、ナンバリング案を作成する。</p> <p>学外講師の招聘にあたり、学生の授業評価アンケートなどからその適切性を検証するとともに、授業担当者との役割分担の明確化を図る。</p>	<p>科目の配当年次の妥当性や科目の位置づけについて考慮しつつ、体系的性を担保し、科目のカリキュラム上の位置付けや履修の順序を明確にするためにナンバリング案を作成した。新学部への設置申請に向けて情報学部のカリキュラムを策定した。地域経営学部及び情報学部のナンバリングは、情報学部が開設する2020年度から実施する。</p> <p>学外講師は、現場の声や最新事情の提供者として、授業担当者が行う講義内容の理解を深めることを目的として9科目27回(内訳は、1回の科目が4、2回の4科目が4、13回の科目が1)で行われた。学生からは「さまざまな自治体・団体の話が比較できてよかった」、「現在取り組んでいる事例を知ることができた」などの声があり有益であった。また、教務委員会においてシラバスのチェックを行い、事前に学外講師の招聘予定の有無、その適切性について確認し、授業あたりの学外講師の回数などについても検討した。</p>	

■法人が記入済
【中期計画の実施状況等の自己評価(記述式)】
中期計画の記載項目(小項目)ごとに、業務実績、当該年度計画の客観的な進行状況、その判断理由等を法人が記述。
(業務実績報告書と同内容)

■法人が記入済
中期計画の記載項目(小項目)ごとに、下記指標により5段階評価
<評価指標>
5: 中期計画を大幅に上回って実施している
4: 中期計画を上回って実施している
3: 中期計画を概ね実施している
2: 中期計画を十分に実施できていない
1: 中期計画を大幅に下回っている

評価委員が記入

中期計画の記載項目(小項目)ごとに、下記指標により5段階評価
<評価指標>
5: 中期計画を大幅に上回って実施している
4: 中期計画を上回って実施している
3: 中期計画を概ね実施している
2: 中期計画を十分に実施できていない
1: 中期計画を大幅に下回っている

■法人が記入済
【年度計画の実施状況等の自己評価(記述式)】
年度計画の記載項目(小項目)ごとに、業務実績、当該年度計画の客観的な進行状況、その判断理由等を法人が記述。
(業務実績報告書と同内容)

■法人が記入済
年度計画の記載項目(小項目)ごとに、下記指標により5段階評価
<評価指標>
5: 年度計画を大幅に上回って実施している
4: 年度計画を上回って実施している
3: 年度計画を概ね実施している
2: 年度計画を十分に実施できていない
1: 年度計画を大幅に下回っている

評価委員が記入

年度計画の記載項目(小項目)ごとに、下記指標により5段階評価
<評価指標>
5: 年度計画を大幅に上回って実施している
4: 年度計画を上回って実施している
3: 年度計画を概ね実施している
2: 年度計画を十分に実施できていない
1: 年度計画を大幅に下回っている